

株式会社ジェイコム埼玉・東日本 川口・戸田局 2023年度放送番組審議会 報告

本審議会は、コロナウィルス感染拡大防止のため、アンケート方式での回答とする。

<放送番組審議会委員>

石田 万友実 様 鈴木 茂三 様 住野 昌洋 様 田中 治夫 様
吉川 みどり 様 若谷 陽子 様

(50音順)

<事業者：株式会社埼玉・東日本 川口・戸田局>

局長 山家 聡、管理部 部長 小野澤 卓也、地域プロデューサー 齋藤 達志郎

<事業者：JCOM 株式会社>

J:COMプロダクション本部 大橋洋一

J:COMプロダクション本部 北條英行

1. 「こちら J:COM 安心安全課」をご覧になってのご意見

【石田委員】

「西川口ハロウィン」は噂では聞いたことがありましたが、この番組のおかげで詳しく知る事が出来ました。

「安心・安全」のキーワードに「こども110番」を合体させたのが素晴らしい。

番組コンセプトに沿った構成となっており、商店街の方々の地域愛、そして「子供達への優しさに溢れた思い」がとても分かり易く伝えられており、まさに視聴者が「ジブンゴト化」できるようにポイントもまとめられていたのが、これまでの番組にはみられなかった構成で新鮮でした。

【鈴木委員】

コンセプトにあるような…

- ① 安心安全な街づくりに役立つ情報
- ② 命と暮らしを守る情報
- ③ 視聴者がジブンゴト化できる情報の提供は、地域密着型の情報の提供を掲げる…という J:COM の編成方針に即した番組である。

今回のような、地元商店会の活動事例から、子供の駆け込み寺として機能する仕掛けづくりは地域及び地域住民にとっても、商店会にとってもメッセージ性ある番組と思える。特番である「地域発！未来へつむぐ安心安全」にもつながる番組でもあることから、題材に即した情報の発掘を積極的に行ない全国に発信して欲しい。

【吉川委員】

「安心安全なまちづくり」に役立つ情報では、いま川口市が直面する課題に対して、地域密着を掲げる J:COM ならではの視点で非常に良い番組だと思いました。

【若谷委員】

地域密着の J:COM らしい番組であり、行政としてもこういった取組の発信をしていただけることに感謝しております。

また、キーワードにこども110番と入れるなど、ただの番組としてだけでなく、情報発信で地域に貢献する意気込みを感じました。

【制作担当から】

「安心安全」に関してはより力を入れて取り組んでいかなければならないカテゴリであると考えています。我々の地元の事例を始め、全国の好事例をどんどん紹介してゆきたい。また、番組制作と同時に、災害発生時はもとより平時にも情報をいただけるサポーターも順次増やしてゆき、地域メディアとして安心安全情報の発信力を高めて行きたいと思えます。

2. 「地域発！未来へつむぐ安心安全」をご覧になったご意見

【石田委員】

和光市の「防犯マップ作り」が極めて明解に説明されていて驚きました。

NPO、行政、そして保護者、これらが三位一体とねろそなって取組んでいる様子が、強く訴求された番組構成となっており、視聴者の立場として大いに感銘を受けました。

この番組を見て、他の自治体も「防犯マップ作り」の参考になる、まさにタイトル通りの番組編集で分かり易かったと思います。

【鈴木委員】

和光市の事例にある各団体の特に保護者目線での活動状況と行政が一体となった安心・安全に寄与する啓蒙活動は活動事例として効果的である。

的確な提言と共に行動する行政の積極的に取り組む姿勢にスピード感があり、新しい官民一体となった街づくりの推進の意図を広報することの出来る良い番組企画であると感じた。

行政と一体となった市民参加型の活動の取り組み番組はメディア発信としては双方に非常に効果ある事例である。

但し、住民目線の行動と行政が一体となって地域を動かすという狙いは大変良くインパクトある企画ではあるが、類似するケースが散見すると思われるので番組として一定の期間取り組めるかが今後のポイントと考える。

安心安全課のコンセプトにもマッチする企画であり企画の深堀を求めたい。

【田中委員:番組について】

地域で商店を営む立場から、地域行政と各地元団体が連携した取り組みは参考になりました。

J:COM の強みである地域密着の良さが出ており、戸田市でも参考にできる取組ではないかと思いました。

今後も、他の地域のこういった取組を紹介していただけるような番組構成は、他の民放にはないと思いますので、今後も期待しています。

【住野委員:役割について】

行政の取組を分かりやすく説明する内容で、広報担当者としても大変ありがたい構成だと思いました。

これからも地域密着を掲げる J:COM ならではの視点で、民放にない構成で地域のみなさまへ広報する媒体としての役割に期待します。

3.「ジモトピックス」をご覧になったご意見

【石田委員】

地元のニュースが川口市と戸田市、それぞれバランスよく配布されており、面白く興味深く見られました。

個人的には「戸田東小学校」のニュースが秀逸。と申しますのも、私の主人が「戸田東小・中学校」の学校運営協議会委員のため、取材対象者(戸田東小学校関係者)に直接感想を聞くことができたのですが、主人曰く「学校側が伝えたい内容をしっかりと放送して頂いている」と大変喜んでおりました。

番組構成もコンセプトに沿った内容で「行政」「文化」「スポーツ」「教育」「防犯」と15分間

の中に、しっかりと盛り込まれていて分かりやすいです。

【若谷委員】

地域の皆さんの見たいこと、知りたいことを伝えるという姿勢が隅々まで感じられた。私が知らない情報を、番組を通じて知ることができ、また内容も専門の立場の方からの解説・分析を入れ込むことで観ている人に一層の興味や知識を与えることに役立っていると感じる。

【住野委員】

地域の問題を発信していくことは大変意義深いと思う。
J:COMの地域密着は放送局の強みであり継続してほしいと思う。

【鈴木委員】

今回の映像は川口・戸田局管内情報を集約して編集してあるが、普段は週単位で県内各局(広域的)の情報として流れているため、関心の高い地元の情報量が少ない。視聴者目線で見ると川口・戸田局管内ではどんな情報が流れているのかということに関心がある。
今後可能であれば、月2回または週1回ペースで地元の特化した川口・戸田局管内情報を特集として放映してくれると情報としてありがたい。
当然、取材や放映の経費が嵩むと思うが、局管内の企業・団体・行政等に呼びかけスポンサーになってもらい、地元発信型の身近な情報提供を行うよう提案したい。
「ど・ろーかる」コンセプトの編成方針にもよりマッチするのではないかと考える。

4. 関連資料をご覧になった、弊社の取組についてのご意見

【石田委員】

視聴者が J:COM の番組作りに期待しているのは、まさに地域の情報であり地域のイベント、防災、防犯関連の番組です。
防災、防犯関連ではNHKとの連携でL字情報の掲出は視聴者にとって、とても観やすく、わかりやすい構成です。
J:COMチャンネルの番組も、地域に特化した番組制作されており、構成内容もどんどん分かりやすくなっていることを強く感じております。
今後も地域の番組作りに大いに期待しております。

【鈴木委員】

「ど・ろーかる」をコンセプトに、より地域に密着した情報を徹底的に”地元目線”でお届けのチャンネル編成方針であるが、一部には「テレ玉」の番組編成と類似(重複)してきているような感じがするので差別化を図る必要を感じる。

ケーブルテレビネット局ならではのより地域密着型の番組編成が望ましい。

【伊藤委員】

昔の「ケーブルネット埼玉」時代からの経緯を知る者としては、放送領域が広がっていることで、川口市内の内容が少なくなってきたさみしさを感じている。

広域放送の民放(特にテレ玉)と同じようなニュース構成になると、スピード感にかけるJ:COMでは視聴者を獲得できないと思うため、今後差別化を図る企画などに期待します。

【住野委員】

防災、防犯への取組についてはいつも行政に対してご協力いただき感謝しております。川口・戸田局がある地域は荒川流域で洪水などの心配があるため、地域住民も JCOM の放送は頼りにしていると思いますので、今後ともより一層のご協力を期待致します。

【制作担当から】

放送範囲の拡大により、狭域の情報が減少するというご意見は非常によく理解しております。我々としても依然となるべく遜色ない形で地域情報をくまなく出してゆけるよう創意工夫して取り組んでまいりたいと思います。

以上